

ながらパトロール

「ながらパトロール」とは

「ながらパトロール」とは、「散歩しながら」「自転車での通勤や買い物のついでに」「業務で車を走らせながら」など、日常生活と合わせて行う無理のない防犯パトロールをいう。

いろいろな活動形態がみられるが、大きく分けると、個人による参加と事業者団体による参加の2つがある。

また、登録、組織化された活動のほか、「子どもたちを見守る意識をもって日常生活を送ろう」との学校や地元警察の呼びかけにも、「ながらパトロール」という言葉が使われる。

市民による「ながらパトロール」事例

●新潟県見附市

見附市役所・学校教育課では、登下校時の児童生徒を不審者から守るため、市民の協力を得て、より多くの目で子どもたちを見守る取り組みとして、平成17年5月に「ながらパトロール隊」を募集した。同年12月の登録人数は718名。

散歩しながら、買い物しながらなど、何かをしながら、都合のつくときに、子どもたちを見守り、不審者による声かけや連れ去り等、未然防止につながる防犯活動に努めている。

●秋田県

秋田県生活環境文化部では、平成21年7月に「毎週木曜日はチャリで防犯パトロールしよう！」をキャッチフレーズに、「ながらパトロール隊員」を募集。これは、ここ数年の不審者による子どもへの声かけ事案の曜日別発生状況を見ると、木曜日の発生がトップであることによるもの。

毎週木曜日を「一斉パトロールの日」として、自転車での通勤、通学、買い物時などの日常生活に合わせた「ながらパトロール」を普及させることによって、犯罪を未然に防ぎ、防犯活動への参画、また、交通ルールなどの社会ルールとマナーの向上を図っている。

事業者団体による「ながらパトロール」事例

●栃木県宇都宮市

宇都宮市では、事業者や団体が、業務のかたわら防犯パトロールを実施する「ながらパトロール」を促進している。

これは、業務で運行する車両に「防犯パトロール中」と記されたステッカーを貼付して行うものであり、地域を見守る多くの目を確保することによって地域における犯罪の未然防止を図ろうとするもの。協力事業者等には、車両に貼付できるマグネット式のパトロール用ステッカーを市から貸与している。(平成22年3月現在 23団体)



わんわんパトロール

「わんわんパトロール」とは、犬の散歩のついでに防犯パトロールをすること。自治会や町会が呼びかけたり、個人が呼びかけたりする場合がある。腕章やゼッケンなど活動表示を決めて、最寄の警察署の生活安全課防犯係等へ「わんわんパトロール隊」の結成を伝えて名簿を提出する。

〈活動事例〉

●神奈川県／葉山わんわんパトロール隊

葉山町居住の愛犬家グループで、空き巣や自転車盗難などが増加傾向にあった葉山町のために何かできることはないかと考えていたときに、東京都内で活動している「わんわんパトロール隊」のことを知り、それを手本としたパトロール隊を平成16年1月に結成した。毎日の愛犬の散歩の際、「わんわんパトロール」の腕章を着用し、不審者、不審車両等を見た際に110番通報する。パトロール中は、犬が苦手な人もいることを十分に認識するとともに、排泄物を持ち帰るなどのマナーを徹底している。登録隊員数は、206家庭・284頭。(平成20年2月現在)